

同職種と多職種との協議

市民の方が在宅生活を送ることができる地域を目指すために
—自分たちができることを考える—

平成31年1月17日 平成30年度第2回多職種連携のための意見交換会
グループワーク資料

30年度第1回グループワーク資料【再掲】

松戸市における取り組み
ふくろうプロジェクト

人生の最終段階における医療・ケアの
決定プロセスに関するガイドライン

厚生労働省 改定 平成30年3月

多職種連携
専門性向上と役割分担明確化

市民の理解と参画

地域包括ケア体制
の充実

本人・家族と共にみなんで考える
アドバンス・ケア・プランニング
29年第2回多職種連携のための意見交換会

高齢者の
救急搬送増加

緊急時に大きい病院に入院
そのまま かかりつけ医になる

在宅医療の認知度
もっと上げる必要がある

意思決定の難しさ

「つくつく見守りたい」の認知度
ほとんどない

急変時の対応
事前に病院と連携する仕組み
づくりが必要

つくば市の救急医療と在宅医療連携のための課題や現状

市民の方が在宅生活を送ることができる地域を目指すために
—自分たちができることを考える—



今回の意見交換会の内容

- ①同職種による話し合い
- ②多職種による話し合い



実際にやる(やれそうな)ことについて具体的な計画を立てる

予定時間	グループワーク内容
19:15-19:20	①グループワークについて事務局より説明(5分)
19:20-19:35	<p>②同職種による作戦タイム(15分)</p> <p>(1)今、地域の中で実際に展開している事例(好事例、同職種のみ、多職種連携、自分が関わってなくてもOK!)について同職種で共有</p> <p>(2)地域の中で在宅医療介護事業を取り組む中で、自分の職種でしたいこと、他の職種にお願いしたいこと(前向きな要望)</p>
19:35-19:45	<p>③席替えタイム☆名刺交換タイム☆(10分)</p> <p>同職種グループから多職種グループにお引越し。名刺交換も兼ねます。</p>
19:45-20:15	<p>④多職種連携 腹を割って話そうタイム(30分)</p> <p>(1)同職種で確認した好事例について、他職種と共有。連携において、他職種にお願いしたいこと、要望を提示</p> <p>(2)上記を踏まえて、多職種と一緒にしたいことを、「明日から」「半年後」「未来にできたら嬉しい」の時間軸と、誰がやるのかについて「医療職」「介護職」「行政(その他)」の枠を設け、協議、模造紙にまとめる。</p>
20:15-20:55	⑤グループ発表(25分)⑥総評(15分)

つくばで実現したいことを多職種で共有!

同職種グループワークの進め方 ☆ 同職種による作戦タイム ☆

- (1) 今、地域の中で実際に展開している事例(好事例、同職種のみ、多職種連携、自分が関わってなくてもOK!)について同職種で共有
- (2) 地域の中で在宅医療介護事業を取り組む中で、自分の職種でしたいこと、他の職種にお願いしたいこと(前向きな要望)

いつもよく知っている「顔の見える関係」メンバー同士。同職種グループワークの司会を決めてください。自薦、他薦問いません♪

【 参考まで 】

☆ 多職種に伝えたいポイント ☆

- ア. 最も重要だと意見が多かったテーマ
- イ. (話題とは少し離れるが)グループ内で最も盛り上がったテーマ
- ウ. 必ずしも最重要ではないが、捨てがたい、皆と共有したいテーマ

同職種のグループ内訳

診療所スタッフ
(医師、看護師)

病院スタッフ
(医師、看護師
SW、管理栄養士)

CM

福祉施設職員
介護職

歯科医師
歯科衛生士

薬剤師

在宅 地域
ケアスタッフ

PT OT ST

企業

地域包括・
行政

多職種グループワーク進め方 ☆ 多職種連携 腹を割って話そうタイム ☆

(1) 同職種で確認した好事例について、他職種と共有。連携において、他職種にお願いしたいこと、要望を提示

(2) 上記を踏まえて、多職種と一緒にしたいことを、「明日から」「半年後」「未来にできたら嬉しい」の時間軸と、誰がやるのかについて「医療職」「介護職」「行政(その他)」の枠を設け、協議、模造紙にまとめる。

☆ 司会、発表、書記の役割は名簿に記載しています。ご協力よろしくお願いします ☆

【 参考までに 】

①各自の考えをポストイットにご活用ください。模造紙に貼っていただきます。模造紙は既に様式がございますが、自由にご記入いただいてオリジナルにしてください！

②明日からできること → 自分がまず行動する！

半年後 → 31年1回目意見交換会で今日のグループで話し合った進捗を共有できるかも♪

未来に向けてできたら嬉しい → 自分だけでなく、同職種だけでなく、多職種の力が必要